

■2-11-3 請求書の発行処理を行う

該当月の請求書発行の処理を行います。

【ポイント】

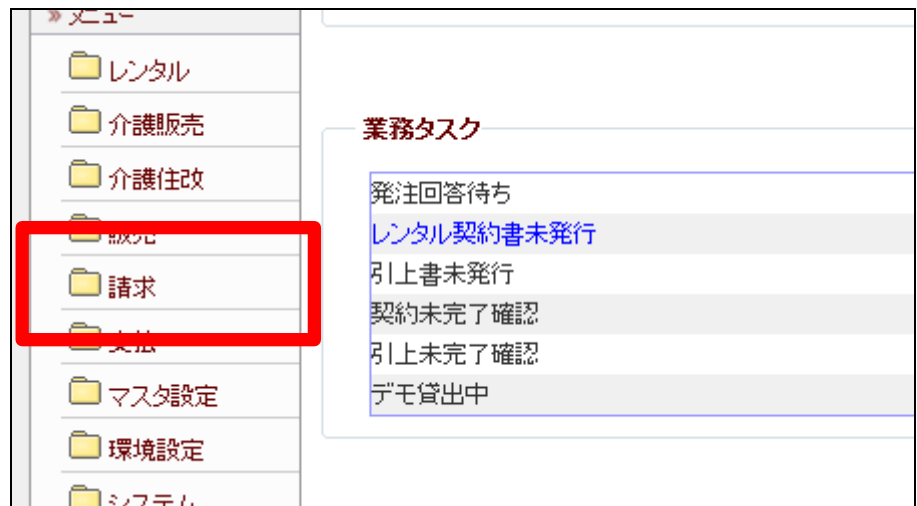
発行される請求書は締日コードに表示された日付が対象となります。締日コードが「05」の場合は5日締めめの請求書が発行されます。

締日コードは次のように表示されます

5日の場合	→	締日コード「05」
10日の場合	→	締日コード「10」
15日の場合	→	締日コード「15」
20日の場合	→	締日コード「20」
25日の場合	→	締日コード「25」
月末日の場合	→	締日コード「99」

1.

「請求」メニューをクリックします。



2.

メニューが展開されますので、「請求書発行」メニューを選択します。

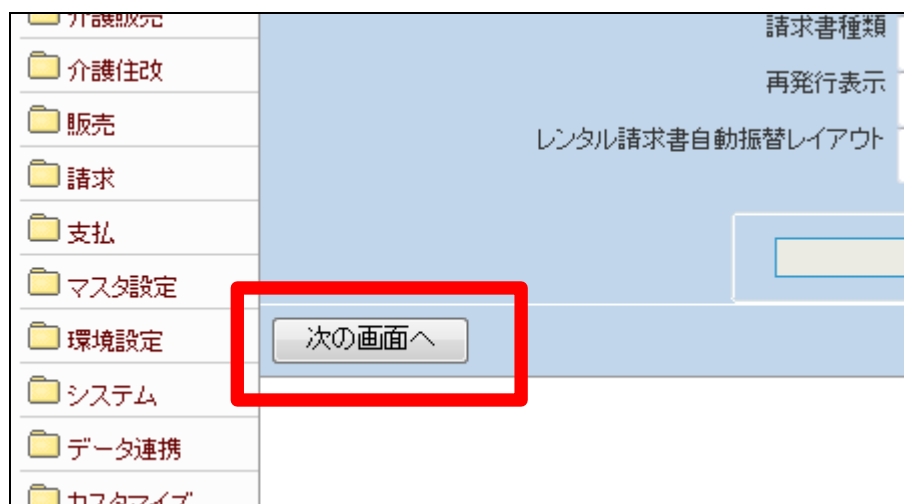


3.
レンタル請求書発行画面が表示されます。

4.
請求書種類を「レンタル請求書」に変更します。

5.
レンタル請求書発行項目が画面のようになります。

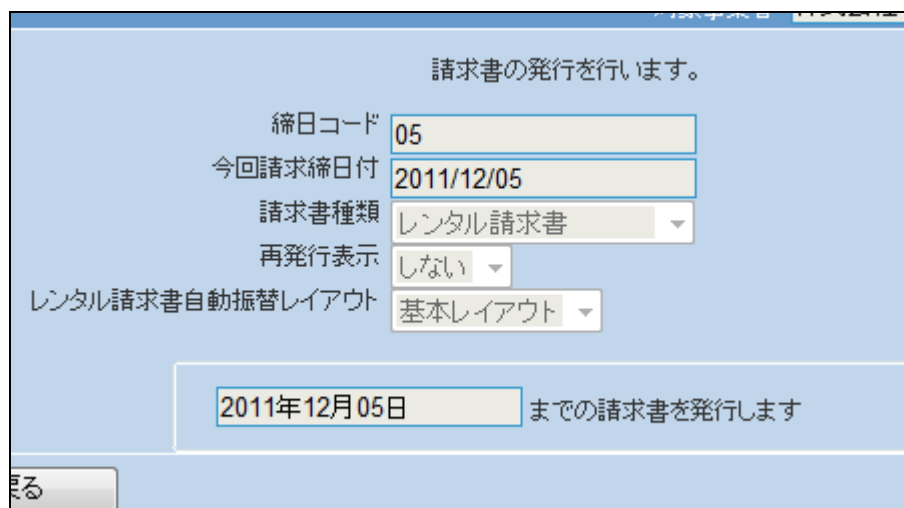
6.
画面の確認を行い、「次の画面へ」をクリックします。



7.
締日コード欄に「05」が表示されます。

【ポイント】

この締め処理は、該当月の5日の売上を締めて売上データを作成する処理を行っています。



8.
5日の請求書発行処理を行います。

5日の請求書発行処理を行う場合は「発行する」をクリックします。

請求書発行処理を中止する場合は「戻る」をクリックします。



9.

「対象データが存在しませんでした」のエラーメッセージが表示されて、締日コード「05」日の請求書発行処理が完了しました。

【ポイント】

レンタル売上に5日締めの上上が存在しないため、上記のエラーが表示されます。エラー表示されますが処理は終了しております。処理を続けて頂いても問題はありません。

【ポイント】

このあと「2-11-4 請求繰越処理を行う」と「2-11-2 請求締め処理を行う」を処理した後、この章の1に戻り処理を進めると締日コードは「10」に変わっています。

